

青森県立保健大学附属図書館だより

# Rapport

MARCH 2009 NUMBER 12

『推理小説に潜む人間理解へのヒント?』

看護学科教授 石鍋圭子 ...2-3

図書館員が選ぶおすすめ本...4-5

海堂尊 『イノセント・ゲリラの祝祭』 推薦:佐々木恵

今井絵理子 『ココロノウタ』 推薦:成田君子

特集

## 新入生へのメッセージ

...6-9

和田しのぶ 鎌田良郎

前田絵未 石橋美香

シリーズ 図書館を使いこなそう

第12回 “My CARINの活用”

“借りている本の貸出期間を  
セルフ延長”

...10-11

Rapport :

フランス語で、関係・関連・類似点『ラポール』は、  
人間同士(学生&教職員&地域住民&県民)の  
つながりを意味します



## 「推理小説に潜む 人間理解へのヒント？」

青森県立保健大学健康科学部看護学科教授

# 石鍋圭子

軽いものから重いものまで、本邦作家はもちろん洋物まで推理小説が好きだ。東京で暮らしていた時は最寄りの地下鉄駅の改札近くに誰でも自由に利用できる図書コーナーがあった。通勤途上に1冊借りて読み、自分で買って読み終わった本はそこに置いて来る。便利であったし、何よりも本がいろいろな人に活用されていると思うとうれしい。多忙な近頃は、夜更かしして仕事に差し支えないように、推理小説はなるべく買わないようにしている。しかし、出張に出た時など、東京駅で薄手の文庫1冊を購入して新幹線に乗り込むと、青森までに丁度読みきる。60歳を超えて、JRのジパング倶楽部の会員となったので、割引かれた分でグリーン車にすれば

専門分野：成人看護学、リハビリテーション看護、チームアプローチにおける看護職員の役割

主な著書：

『リハビリテーション専門看護：フレームワーク/ビューポイント/ステップアップ』医歯薬出版

『リハビリテーション看護実践テキスト：専門性を高める継続教育』医歯薬出版

『疾患・障害別リハビリテーションナーシング』学習研究社

『リハビリテーション看護とセクシュアリティ』医歯薬出版

『リハビリテーション看護の新しい視座』医歯薬出版

『リハビリテーション看護におけるチームアプローチ』医歯薬出版

『看護教育の実践：ともに学びともに育つ教育』学習研究社

『リハビリテーション看護とセルフケア』医歯薬出版

『人間性回復のためのケアマネジメント：リハビリテーションの視点からの展開』メヂカルフレンド社

“はやく”とはとびきり快適な図書室だ。小学校5年生の時からひどい近視で、乗り物の中での読書など、目の毒以外の何物でもないのだが、車窓から風景をのんびり楽しむより活字中毒である。旅程が飛行機だと1時間位なので、どうしても読み残してしまい、帰宅してから続きを読まないように自制するのが大変だ。先週末も東野圭吾の「手紙」というミステリーを手最終便で帰青したのだが、小説の4分の1位まで読んだところで、青森空港に着陸してしまった。続きは明日にするつもりでいたが、スーツケースを整理するうちにポケットの小説を見逃せなくなった。結局、深夜の1時過ぎから明け方まで、一気に読みきってしまった。

私にとって読書は時間つぶしとしてだけでなく、しばしば現実から逃避するための道具となっているようだ。小説世界に没入することで、現実の問題を一時保留にし、あれこれ考えて思い悩む時間をなくす。その結果、現実世界に戻ると考える間もなくバタバタと問題解決に取り組まなければならないが……。そんな推理小説好きであるが、人生をつくづく考えさせられる時もある。先の「手紙」もそのひとつであった。小説は、強盗殺人を犯した兄に人生を狂わされてしまった弟の苛酷な境遇を、刑務所から届く手紙をモチーフに綴っている。弟は、兄が強盗殺人犯であることで理不尽な差別を受ける。周囲の人は、それが差別とは自覚しないまま、相手を傷つけないように無関心を装い、無視する。小説は、世間の人々が相手を傷つけたり、積極的に排除するような非人間とは書いていない。むしろ自分でもそうするだろうなという行動を書いている。弟はその境遇を知った人から、何か避けられていると感じることで相手の居心地の悪さを理解し、ある時は近くなった人から自らをフェイドアウトさせ、ある時は何も自分は悪くないのだと正々堂々と生きようとする。しかし、服役囚である兄からの弟を気遣う「手紙」を受け取るたびに、自分が囚人の身内であることを思い知らされる。一方、被害家族にとっては、犯人からの毎月の「手紙」は忘れたい事件を想起させる苦痛であり、かといって犯人から何も謝罪がなければ記憶から忘れられたようで怒りを覚えるかもしれない。私自身を含め世の中の人々は、通常理解を超える境遇にある人に会うと、どう対処したらよいか当惑

し、結果として当たらず、触らなくなってしまふ。だとしたらそのような差別は人間関係を壊さないための当然の対処ではないか。それぞれの立場、状況で生じる感情や対処法は必ずしも身勝手と批判できない。では、人間を相手にする私たち保健医療福祉の従事者は、どのようにしたら公正に相手を理解できるのだろうか？

涙を流しながら読み終わった後で、つくづくと考えさせられる推理小説はそれほど多くない。暇つぶしに手当たり次第に読んでいたミステリーだが、時として人間理解を深めるヒントを潜めている。私は3月に定年退職して人生の第2ラウンドに入る。これからの豊かな時間を惜しみなく読書三昧に注ぎたいものである。



毎日新聞社刊

## 図書館で読めるベストセラー ミステリー

### 東野 圭吾

請求記号： 913.6 | H55

『白夜行』/集英社  
 .....  
 『手紙』/毎日新聞社  
 .....  
 『幻夜』/集英社  
 .....  
 『容疑者Xの献身』  
 /文藝春秋

### 海堂 尊

請求記号： 913.6 | Ka21

『チーム・バチスタの栄光』  
 (上・下) /宝島社  
 .....  
 『ナイチンゲールの沈黙』  
 /宝島社  
 .....  
 『ジェネラル・ルージュの凱旋』  
 /宝島社  
 .....  
 『イノセント・ゲリラの祝祭』  
 /宝島社

### 恩田 陸

請求記号： 913.6 | O65

『チョコレートコスモス』  
 /毎日新聞社  
 .....  
 『エンド・ゲーム』  
 /集英社  
 .....  
 『ネクロポリス』(上・下)  
 /朝日新聞社  
 .....  
 『ユージニア』/角川書店

# 図書館員が選ぶ おすすめ本

佐々木 恵



## 『イノセント・ゲリラの祝祭』

著者：海堂尊  
出版：宝島社  
発行年月：2008.11

請求記号：913.6||Ka21

現在、映画「ジェネラル・ルージュの凱旋」が公開され話題となっている、海堂尊さんの『イノセント・ゲリラの祝祭』を紹介します。『チーム・バチスタの栄光』『ナイチンゲールの沈黙』『ジェネラル・ルージュの凱旋』に続く白鳥・田口シリーズの4作目となります。今回は医療行政をテーマにしたお話で、病院ではなく厚生労働省が舞台となっています。前作までのように、殺人事件の謎を解いたり、不正を暴いたりというミステリー的な要素はありません。内容としては医療事故調・創設検討会という会議が延々続くのですが、それぞれの思惑と暗躍がぶつかりあって読み応えがあります。白鳥や田口の活躍もさることながら、終盤での新たな登場人物を中心とした議論のシーンは圧巻です。そして、今回も強烈なキャラクターが続々と出てきます。

今回の作品同様、現実にも、「死因検討会」（診療行為に関連した死亡に係る死因究明等の在り方に関する検討会）が厚生労働省で開かれており、医療版事故調査委員会の設置について話し合われています。海堂さんの書かれる作品には、面白さの中にも現在の日本の医療体制の問題点が多々散りばめられていて、考えさせられることも多いです。私が日本での死因特定のために行われる解剖件数が2%であることやAI（死亡時画像診断：Autopsy-imaging）について知ったのも海堂さんの作

品でした。海堂さんは、外科医を経て現在は病理専門医として研究系病院勤務をしている現役のお医者さんです。日本の医療社会にAIの重要性を訴えたいと考え小説を書いたのが、医者と作家という二足のわらじを履くきっかけになっているそうです。

海堂尊さんの作品は、すべてが同じ世界で展開され、過去-現在-未来とすべてのお話が関連を持っています。そのため、他の作品の登場人物やエピソードがチラッと出てきたりするのを楽しみの1つです。海堂さんご自身も、それぞれの作品は独立していても、すべての作品が繋がっていて、どの作品から読んでも楽しめるようにと書かれているそうです。海堂さんの作品に出てくる人物相関図があると良いなと思っていたところへ、映画公開に合わせて『ジェネラル・ルージュの伝説』が出版されました。内容は、若き日の速水部長のスピノフ小説、相関図、キャラクター解説、エッセイなどとなっているようです。ご興味のある方は、こちらをご覧ください。

最後に少しだけ図書館の紹介をしたいと思えます。図書館には、専門書の他にもちょっとした読み物もおいてあります。また、図書館1階の新刊図書コーナー下には、「AERA」や「ダ・ヴィンチ」等の雑誌も用意しています。館内利用のみで貸出はしていませんが、ちょっと一息入れたいと思ったときには利用してみてください。図書館を利用して困ったことやわからないことがあったときは、司書に聞いてみてください。親切に対応（ただし、マナーを守って図書館を利用している学生さんに対しては）してくれることと思います。

# 図書館員が選ぶ おすすめ本

成田君子



## 『ココロノウタ』 ：息子と歩んだ4年間、 そしてこれから』

著者：今井絵理子  
出版：祥伝社  
発行年月：2009.2

請求記号：916||43

©今井絵理子「ココロノウタ」  
/祥伝社 2009

現在障害は個性。“焦らず・比べず・諦めず”  
一步一步息子とともに笑顔で歩いていきたい

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから図書館を利用するにあたって、多くの本との出会いがあることと思いますが、私から一冊紹介させていただきます。

この本は、SPEEDの今井絵理子さんの、先天性聴覚障害を持つ息子の礼夢（らいむ）君への深い愛情と、周囲の方に励まされる中で、母としても成長していく姿が綴られています。読み進めるうちに、何度も胸がいっぱいになったおすすめの本です。綺麗な写真とかわいいイラスト付きで読みやすい本ですので、一度手にとっていただけたらと思います。

生後3日目に礼夢君は聴覚障害であることが分かり、東京医療センター臨床研究（感覚器）センター長の加我君孝氏の診断を受けます。そして、生後6ヶ月で補聴器をつけ始めて、口話法を学ぶ学校での生活が始まります。聴覚障害の早期の発見と、早期教育の必要性やその後の様子が書かれています。

また、思わずこちらも微笑んでしまうほど愛くるしい、礼夢くんの笑顔の写真が掲

載されています。中山美穂さんは、礼夢君の笑顔は母である今井さんのたくさん笑った

結晶である、とおっしゃっていたことが印象的でした。子どもの笑顔は母の笑顔の結晶と、母と子の絆の深さを感じました。

ある時、今井さんへ礼夢君と一緒にTV出演の依頼がきますが、今井さんは即時に断ります。しかし、自分の存在が励みとなって、同じ聴覚障害の子どもをもつ母親が自殺をやめたことを知り、悩んだ末に出演することを決断します。これには相当な覚悟があったことと思います。出演後は多くの様々なメッセージが届きますが、著者はすべてのことを受け止めて歩いていく決意をし、たくさんの方へ感謝の言葉を述べています。強き母として、また凜とした一人の女性としての姿に感動しました。

人は皆、桜梅桃李（おうばいとうり）の如く、桜は桜、梅は梅と、自分らしく綺麗に花を咲かせるように、自分にしかない使命をもっていると実感します。著者のように今ある環境を受け止めて、人と比べず、夢に向かって自分らしく一步一步、歩いていきたいと思いました。

他にも、図書館には多くの本や視聴覚資料があります。レポート作成の合間などに、気軽にお越し下さい。また図書館のことで分からない時は、1Fカウンターにいる司書に聞いて、図書館をどんどん使いこなしてみたいかがでしょうか。そこには、新たに発見する知識と情報の世界が、皆さんを待っています。時には一人で、ある時は仲間と一緒に図書館で研鑽して、有意義な大学生活を送っていただきたいと思います。

# '09 新入生への メッセージ



看護学科4年

和田しのぶ

## 「自分にとって有効な図書館活用法を見つけるため」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学したばかりで図書館に行く機会はまだ少ないかもしれません。実際、私が図書館をよく利用するようになったのは、1年の実習からでした。私たちの大学の図書館は専門的な本がたくさんあるので、自分が受け持たせて頂いた患者さんの疾病専門の本を探しに行ったのが最初でした。受け持ち患者さんの病態を理解し、看護を展開するには、授業で習ったことを基盤として、自己学習が必要になります。授業で購入する教科書以外だけでなく、その疾病や看護に関連した本をより多く目を通すことで、専門的知識を得ることを実感しました。また、実習だけに限らず課題が出たときなど、自分で本で調べた内容は、身につけて忘れないことも実感しました。図書館は借りる本に冊数制限がないので、「わからないことは

調べる」という姿勢を大切にして、図書館に足を運び積み重ねをすると、大きな収穫につながると思います。

そして、図書館を何度も利用すると、自分にとって参考にしやすい本が明確になってくるはずですよ。看護学科の皆さんにオススメなのは、「関連図」関係の本です。一つの疾病や症状についてつながりがわかるので、私は利用することが多いです。まず、「看護過程」という授業で利用すると思うので、頭の片隅に置いておいてもらえると嬉しいです。

その他にも、図書館には個室や自習室、グループ学習室といった部屋もあるので、テスト期間に集中して勉強するには最適だと思います。

私たちの大学の図書館には、勉強に活用できる要素が豊富にあります。ぜひ自分にとって有効な活用法をみつけて、大学生活を充実させてください。



## ‘09 新入生へのメッセージ

さて、新入生のみなさん、大学入学おめでとうございます。まずは新しい生活に慣れることが大事ですが、「大学に入学すること」自体は人生のゴールじゃありませんので、これから先もまだまだがんばることになるかと思います。卒業前に国家試験の受験がありますから。もっと言っちゃうと、就職してからも勉強は続きます。勉強しなくたって生きてはいけますけども、まあこれから4年かけてどんな風に人生を送るか考えてゆくことになるでしょう。で、図書館のお話をしましょう。わが大学の図書館でできることはいろいろあります。

当然のことながら、館内で本を閲覧したり、借りたりできます。そのほか、図書館に置いてない本を購入してもらって借りることもできます。ある程度日数がかかりますが、専門書だけでなく、小説やビジネス書、その時々のおすすめセラーなんかも買ってもらえたりします。3階の本棚には、昆虫図鑑などかなり意外な本が置いてあつたりしますが、その多くは申請して買ってもらった本になると思います。映画の原作本でもラノベでもダメ元で何でもいろいろ申請してみることをお勧めします。

参考までに、  
昨年私が申請

して買ってもらった本は11冊です。

また、読書以外にも役立つことがあります。

まず入ってすぐ右側、貸し出しカウンターの向かいの棚には全学科の教科書が並んでいます。これらは全て禁帯出、つまりは持ち出せないのですが、その棚の右側に有料のコピー機がありまして、さらさらと申請書を書いてカウンターに出せばコピーがとれます。ということは、例えば教科書を家に忘れてきたときなんかには便利です。

なおコピーについては、基本的に申請した

文献のページだけ可能とされています。でもまあ人間のすることにミスはつきものですから、それ以外のもの、例えば友人のノートなんかを一枚二枚間違っただけでコピーしてしまうこともあるでしょう。そのへんは一応細かくチェックはされませんが禁止事項ですからね、意図的にやっちゃいけません。そういうのはC棟とか売店のコピー機を使いましょう、はい。

あと、入って左側の奥にはグループ学習室という防音の個室があります。こちらを使うのに申請書が必要ですが、カウンターで申請すればすぐに何人かでガヤガヤ話せる場所として

使えます。個室には大画面のモニターやら何やらが置いてありますが、そういうものを利用する方も居るようです。入り口のドアにはガラス窓がついていますが、中にあるホワイトボードで死角が作れます。でもまあ、なんにしても常識の範囲内で利用しましょう。常識って人それぞれですけど、まあ、やましいことでもコソコソやってる分には可愛げがあるというもの...

そしてグループ学習室の手前、左の窓側にはAVコーナーがあります。1階に置いてあるDVDやビデオソフトを持って行ってカ

ウンターで申

漏れしない密閉式のヘッドフォンを貸してもらえますので、それを使って視聴できます。この際、自分で持ち込んだDVDやビデオのソフトを視聴することも出来るかもしれませんが、えーと、常識の範囲内で...。折角の設備を遊ばせておくのは勿体無いんですけどね。

さて大分脱線してしまいましたが、新入生の皆さん、以上のヒントはとりあえず置いといて、これからの四年間はこの図書館で、社会に通用する教養と常識と、チャレンジ精神と要領の良さを身に付けて下さい。



理学療法学科2年  
鎌田良郎



## ‘09 新入生へのメッセージ

### はじめに

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学に入学してどんなことをしようと思っていますか。忙しくなることもあるでしょうが、自分の興味関心の赴くままにたくさんすることに挑戦してみてください。私自身もその挑戦の真最中で、卒業時には充実した大学生活を振り返ることができるよう、日々頑張っています。

では充実した大学生活はどのようにして得られるでしょうか。毎日熱心に講義を受けること、ゼミで他の学生の意見を聞いて刺激を受けること、サークル活動に参加すること、アルバイトをすること、友達と遊ぶこと...などあらゆることが大学生活を豊かにしてくれると思います。私は、図書館をたくさん利用することもそのひとつに挙げられると思います。

大学では、受ける授業によって一人ひとり時間割が違い、授業と授業の間の空き時間をどのように使おうか困ってしまうと思います。そんなときはぜひ図書館の中を歩いて回ってみてください。そうして、そこに並んでいる本をながめ、手にとってみるのです。これを繰り返すと、どこにどんな本があるのか見当がつくようになり、レポートを書くときに必要な本を探したりするときなどにとても便利です。

### 図書館ツアー

そこで図書館にはどんな本があるのか、各階からのお勧めの本を交えながら紹介しようと思います。

この大学の図書館には約9万冊の蔵書があるそうです。1階には辞書や白書、教科書や参考書などがあります。また、新着図書や雑誌も置かれていて、私はよく週刊誌「AERA」を利用します。そこにはいくつかの連載記事が掲載されていますが、大抵短いものなので、ちょっとした空き時間に読んでしまうことができます。

2階には、新聞や専門雑誌、各学科の専門図書が置いてあります。社会福祉系の本はエレベーターを降りて右手のところに集まっています。「ノーマライゼーションの父」と呼ばれる



バンクミケルセンの生涯について書かれた本や、「ダーリンは外国人」というエッセイ漫画などがあります。

3階には、心理学、法律、数学、美術、語学に関する本や、国内外の小説もあります。3階からは小説をひとつお勧めしようと思います。村上春樹著の「ノルウェイの森」という作品です。物語で37歳になった主人公の「僕」は、大学生時代のことを回想し、その頃のことを書き留めていきます。私が始めてこの作品を読んだのも、主人公がさかのぼった年齢と同じ、18歳のときでした。物語の中ではビートルズの曲がたくさん流れています。この作品のおかげで新たに知った曲がたくさんありました。この大学の図書館には村上春樹の全集もあるので、ぜひ読んでみてください。

図書館を利用する上でわからないことがあるときは、司書の方に聞くと、快く教えてくれます。図書館をどんどん利用して、上手に活用できるようになってください。

### 最後に

本はどこへでも持ち歩くことができます。携帯電話やパソコンのようにバッテリーも必要ありません。本には著者の主張やメッセージが書かれています。遠く離れたどこかにいる著者もいれば、もうすでに死んでしまった著者もいます。時間や空間を越えて著者の声は本になって残っています。つまらないと感じる本もあれば、面白いと思える本もあると思います。図書館にある9万冊の本の中からぜひ1冊、お気に入りの本を見つけてみてください。きっと大学生活の力になってくれると思いますよ。



## ‘09 新入生へのメッセージ

### 「図書館と生活」

大学に入って早くも1年が経ちました。とにかく時間が早く過ぎるのが大学生活です。皆さんには充実した日々を送って欲しいと思います。

大学の図書館は高校の図書館と比べて規模も大きく、文献も豊富で、入学したての1年生には何を読めばいいのかわからないですよ。ね？せっかく図書館があるのだから、利用しないというのはもったいない。どこまで紹介できるかわかりませんが、自分なりの図書館の活用法をご紹介します。

私が図書館を利用する時は、本を借りる時と、勉強や調べものをする時がほとんどです。あと、教科書を忘れてきた時とか…。勉強するときは、3Fの個室が便利です。主にテスト勉強など、集中したいときに利用しますが、いつも満席なので使えるとしたらラッキーです。あと、窓際の大きなテーブルでのびのびと勉強するのが好きです。保健大の図書館は静かで落ち着ける雰囲気がとても良いと思います。

図書館には難しい専門書しかないというわけではありません。私が入学して間もないころは、専門書はまだ読めないと思っていたので、3階にある小説などを借りて読んでいました。しかし、今考えると結構初心者にも読みやすい本が多かったです。少しでも疑問に思ったことは調べてみましょう。タイトルに惹かれた本などを読むのも素敵だと思います。図書館にある数多くの本の中で、何を読めばよいのかわからなかったら、教授が学生に薦めている本を読んでみるのもいいと思います。興味深い内容の本がたくさんあります。読書をし

ない人も、図書館を勉強の場として利用してみてください。

栄養学科の皆さんには、時間に余裕のある1年生のうちに図書館を利用して、読書に親しんでほしいと思います。例えばNSTや食育など、実際に現場で活躍している人の本を読んでみるのはどうでしょうか？そういった本からは、現代の日本が抱える食や栄養の問題を知ることができます。栄養学科では管理栄養士だけでなく、栄養教諭の資格も取得できるので、その職業の人がどのように活躍しているのか知ること、自分が将来、社会で担う役割が分かるようになると思います。

2年生になる私の目標は、新聞のコーナーを利用して、新聞を読むことです。勉強だけでなく、現代社会で何が起きているのか知ること大切だと思うからです。図書館の利用の仕方はまだまだ勉強中です。ビデオ学習やグループ学習室も利用してみたいと思っています。皆さんも自分なりの活用法を見つけてみてください。そして、楽しい大学生活を一緒に送りましょう。

栄養学科2年

石橋美香



～ My CARIN の活用 ～

## “借りている本の貸出期間をセルフ延長”

図書館システムの利用者サービス(My CARIN)では、貸出・予約状況の確認、希望資料申請(図書購入依頼、文献複写依頼、現物貸借依頼)が可能です。また、参考となる資料をピックアップしておく機能として My 本棚があります。

平成 21 年 4 月 10 日から**新しい機能**が追加されます。My CARIN の画面から借りている本の貸出期間の延長手続きが可能となります。**図書館に本を持参しなくても、セルフで延長ができます**ので、ぜひ活用してください。

My CARIN を利用するには、利用者ログインを行う必要があります。

**パスワードを忘れた方は、図書館カウンターにお申し出ください。**

### 注意事項

- ・延長後の返却期限日は、延長した日から 2 週間となります。
- ・貸出期間の延長は、1 回のみ可能です。
- ・返却期限日が過ぎている場合には延長できません。
- ・予約が入っている場合には、延長できません。

### 【My CARIN へのログイン方法】

蔵書検索画面の右上にある「利用者ログイン」、または、図書館ホームページの「利用者ログイン」をクリックする。

ログイン画面が表示されるので、ログイン ID(学籍番号、または教職員番号)とパスワードを入力する。

ヘルプ English 2009/03/17

検索条件入力 (簡単検索)

検索条件入力 → 検索結果一覧 → 詳細表示 ↔ 高機能検索

同義語検索  オン  オフ 新着資料から検索

利用者ログイン

検索キーワード

検索開始(S)

ヒント表示

青森県立保健大学附属図書館 MyCARIN ログイン

ログインID

パスワード

English  日本語

## 【返却期限の延長】

利用者サービス(My CARIN)の画面が表示されたら、貸出・予約状況の「貸出： 件」をクリックする。



延長したい本の「更新」ボタンをクリックすると、「更新していいですか？」のボックスが表示されるので、「OK」をクリックする。



返却期限日が 2 週間後になり、「貸出を更新しました」のボックスが表示されたら、「OK」をクリックして処理完了。



## 青森県立保健大学附属図書館だより ラポール 第 12 号

---

平成 21 年 3 月 発行

発行者 青森県立保健大学附属図書館

〒030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1

電話 017-765-2011

URL <http://www.uhw.ac.jp/>

---